

事務事業名	国保保健事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康推進課
政策名	総合計画体系 (Ⅲ)地域で支えあうくらしづくり《保健・医療・福祉》	所属G	総務G	課長名	上村博子
施策名	(17)健康づくりの推進	担当者名	高橋澄人	電話番号 (内線)	0854-40-1045 3629
基本事業名	(050)身近な健康相談・指導体制の充実	予算科目	会計 款 項 目 中事業 0:5 3:0 0:5 0:5 0:1		保健事業

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	◆保健予防事業 ①職員研修(保健関係者の教育)・・・専門研修、内部研修 ②健康教育・・・一般健康教室、訪問保健活動 ③認知症予防業務・・・教室開催 ◆人間ドック・脳ドックの実施 ←平成20年度より市民環境生活課から所管替え	雲南市国民健康保険の保健事業として旧町村で開始、保険者資質向上を図りながら被保険者の医療費軽減対策事業及び健康自主活動組織活性化への取組みを行う。

(2)トータルコスト

①事業費の内訳(概要)	単位								
H23(単位:千円) 報酬等2,200、委託料5,891、旅費119、需用費657、役務費38、使用料289	財源内訳	国庫支出金	千円	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	8,457	10,213	9,194	10,213	10,213	
		一般財源	千円						
		事業費計(A)	千円	8,457	10,213	9,194	10,213	10,213	
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	人件費	正規職員従事人数	人	22	12	12			
◆各種専門職の研修・教育の実施 ◆市民健康大学 全4回 ◆人間ドック・脳ドック実施 (人間ドック151人・脳ドック99人)		延べ業務時間	時間	1,426	550	550			
		人件費計(B)	千円	5,439	2,138	2,168	0	0	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	13,896	12,351	11,362	10,213	10,213	

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) 各種専門職の研修・教育(専門職)の実施。市民健康大学4回。人間ドック、脳ドック。認知症予防教育(二段階方式実施)木次、掛合。 24年度計画(24年度に計画している主な活動) 各種健康教育の実施(市民健康大学)。人間ドック・脳ドックの実施。認知症予防教育(二段階方式)実施。	⑤ 活動指標							
		ア 職員(保健師)専門研修予定数	回	30	30	20	30	30	
		イ 健康教育予定数	回	4	4	5	5	5	
		ウ ドック(人間・脳)受診予定数	人	300	280	226	461	461	
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	国保被保険者を中心とした市民と、保健事業を推進する職員等。	⑥ 対象指標							
		ア 国保被保険者	人	10,380	10,180	7,970	7,970	7,970	
		イ 保健関係職員	人	20	20	22	22	22	
上位目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	1. 健康に関して正しい知識を得る。 2. 地域全体が、健康に関心をもてる。 3. 健康づくり活動が実践できる。	ア 職員(保健師)専門研修実施数	回	30	30	20	30	30	
		イ 健康教育実施数	回	4	6	5	5	5	
		ウ ドック(人間・脳)受診者数	人	300	280	226	461	461	
	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
	心身ともに健康で暮らす。	ア 一人当たり国保医療費		330,581	339,301	366,521	366,521	366,521	
		イ							

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
保険者の立場で保健事業を実施しているが、事業内容は毎年検討し実施している。人間ドック、脳ドック事業を平成20年度に市民環境生活課から所管替え。	平成20年度に市民環境生活課からの所管替えをした。	国保運営協議会等から、被保険者に有効な保健活動に対する期待あり。

事務事業名	国保保健事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康推進課
-------	--------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 保健予防を行い、健康増進につなげて行く事は必要。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 市民の健康を補償するのは、行政(保険者)の役割である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象は被保険者(市民)であり、意図は生涯現役で過ごすため健康に興味を持ってもらうことであるので妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 継続的な取り組みで成果が表れる事業であるので、目標値の設定は難しいが、健康づくりも多面からアプローチすることが必要。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 保険者の責務から事業実施すべきであり、法的に実施しなければならないと規定されている。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 健康教育(健康推進課)、介護予防教室(地域包括支援センター)などがある。会計、補助金の関連から事業を分けざるを得ない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ この事業を行うことにより被保険者の健康増進が進めば、国保医療費を削減できる。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 保健活動による教室・訪問・研修は、人件費が主である。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 健康教室等は被保険者(市民)を対象としているので、問題ない。 但し、人間ドックについては、定員があるため、毎年受診可能とした場合に一部被保険者に受診機会が集中しないよう配慮が必要と思われる。また、委託料の見直しに伴う自己負担金の見直しも必要。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	国保における保健事業は毎年事業内容を検討して実施しており慣例的に事業展開していない。調整交付金(補助金)による事業との連携も含め計画的に展開していく。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
人間ドックについては、定員があるため、毎年受診可能とした場合に一部被保険者に受診機会が集中しないよう配慮が必要と思われる。また、委託料の見直しに伴う自己負担金の見直しも必要と思われる。																							